

# 会 議 録

会議の名称	第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会（部会②）
開催日時	令和7年4月17日(木) (午前・午後) 2時00分 開会 (午前・午後) 4時30分 閉会
開催場所	おにクル2階 子育て交流室
議長	河合 将生 氏 (office musubime 代表、NPO組織基盤強化コンサルタント)
出席者	<p>【評価委員（全出席委員のうち、下線のある委員が部会②に出席）】          河合将生氏（NPO関係者）、<u>入江陽子氏（NPO関係者）</u>、<u>上村有里氏（NPO関係者）</u>、高田和子氏（地域活動関係者）、<u>板倉幸司氏（公募市民）</u>、小村郁慧氏（公募市民）</p> <p style="text-align: right;">（ 6人）</p> <p>【事務局（全出席者のうち、下線のある者が部会②に出席）】  <u>山脇共創推進課長代理</u>、吉田共創推進課市民活動グループ長、<u>松井</u>、岡田</p> <p style="text-align: right;">（ 4人）</p> <p>【担当課】          共創推進課、障害福祉課、人権・男女共生課、スポーツ推進課、地域コミュニティ課、地域福祉課</p> <p style="text-align: right;">（ 6課）</p>
開催形態	原則公開（傍聴1名）
議題(案件)	(1) 概要説明および会議の公開・非公開の決定 (2) 提案者によるプレゼンテーション及び質疑応答
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第</li> <li>・ 令和7年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧（プレゼン審査タイムスケジュール）</li> <li>・ 応募関係書類（個人情報を含むため省略）</li> </ul>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会及びあいさつ
河合委員長	公開・非公開の決定について（原則公開・会議録は要点筆記） 本日の会議の概要説明 傍聴者入室  ※ここまでは部会①とともに、多目的室 C2 にて実施  ----- プレゼンテーション開始 -----  以下、部会①と部会②に分かれてプレゼンテーション審査を実施
団体	【自由テーマ型】 がんばろう！つばさネットワーク 東日本大震災の被災地から高校生を招いて体を動かして楽しもうぜ！交流で元気を発信！ 親善野球
関連課	【関連課 意見】
小村委員	【質疑応答】 ・参加した高校生の卒業後のつながりは。 →たまに参加してもらっている。比較的大学生とのつながりが強い。
入江委員	・難しいと思ったこと、それに対して工夫したこと。 →バス代高騰への対応が厳しい。 また、東日本大震災当時に小さい年齢だった子が高校生になってくる中で、彼らが間接的な伝承を受け止めることになっていきそう。それに対しては伝承館に寄るなどといった形で当時の記憶を伝えていくことができると考えている。
団体	【自由テーマ型】 AC 茨木 ESB 女性向けサッカースクールクリニック
関連課	【関連課 意見】
小村委員	【質疑応答】 ・活動としては15年目ということだが、活動は定期的に行っているのか。 →小中学生に関しては定期的にスクールを実施している。ママ世代を対象としたイベントは、年に1回程度だった。
高田委員	・「マザーズ世代向け」のイベントについて。

	→親子で一緒に参加してもらおうと考えている。お母さん同士の試合や、お母さんチームと子どもチームでの試合も実施したい。
団体	【自由テーマ型】 MIMAMORI おにクル内での見守り活動
関連課	【関連課 意見】
小村委員	【質疑応答】 ・報償費の予算としてひとり 2,000 円としているがなぜこの設定なのか。 →1 回に 1 時間 500 円、ひとりが複数回参加してくれる可能性を踏まえて、1 人あたり平均 4 回程度の参加、ということで 2,000 円を見積もっている。 ・いつから補助金に申請しようと考えていたか。
入江委員	→1 年ほど前から申請を迷っていた。当初は補助金をもらう活動ではないと考えていたが、活動の意義を考えていく中で、報償費について補助金を活用してもいいのではないかという考えに至り、チャレンジしてみようと思った。
団体	【自由テーマ型】 みんなのうんどう会開催委員会 みんなのうんどう会
関連課	【関連課 意見】
高田委員	【質疑応答】 ・参加予定人数はチーム分けなどで課題はあるか。（世代バラバラにするなど平等感をもって活動できると良いと思う） →150～200 名を想定しているが、現時点では 30 名。参加者がもう少し分かってからチーム分けは考えたいと思う。
入江委員	・子どもたちの関わりの創出のためにどんなことを考えているか。 →フリースクールや不登校の子に声掛けをしている。少しの役割を与え、こどもボランティアを募集したいと考えている。自己肯定感につなげたい。
団体	【自由テーマ型】 郡小学校校友会設立準備会 郡小学校創立 50 周年記念・校友会設立記念式典
関連課	【関連課 意見】
小村委員	【質疑応答】 ・式典は具体的に何をするのか。

	<p>→歴代の校長や教職員、卒業生に参加してもらおう。単なる同窓会で終わらせたくはないので、世代間を超えた繋がりを仕掛けたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ在校生は参加対象としないのか。</li> </ul> <p>→段階を踏んでいきたいので、いきなり在校生を呼ぶのではなく、卒業生を募ることからスタートさせたいと考えている。</p>
団体	<p>【自由テーマ型】 M' s Glitter Mam' s smile プロジェクト いのちを繋ぐ</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p>
入江委員	<p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近実施した取り組みは。</li> </ul> <p>→おにクル内わっくるを活用した取り組みを実施した。7名の枠だったが、22名の参加があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付額が申請額よりも減額となった場合はどうするのか。</li> </ul> <p>→講師に交渉したい。</p>
団体	<p>【自由テーマ型】 レクリエーションボランティア団体 SUTAMO-family 工賃向上共創企画 おにも見にクルFUKUSHI マルシェ</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p>
入江委員	<p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・難しいと思うところや、新たにチャレンジしたところはどこか。</li> </ul> <p>→事業所の体制上なかなか企画に参加いただけないところが課題。新たな取り組みとして障害福祉サービス事業所に「とにかく話を聞けるブース」を設置する。</p>
小村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署とも連携するのか。</li> </ul> <p>→現在調整中。</p>
団体	<p>【自由テーマ型】 茨木シニアお元気活動サポート協会 地域とシニアを繋ぐスマホ講座</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p>
高田委員	<p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞折込が毎日新聞のみであったり、事業の対象者として考えておられるのが天王2丁目近隣という限られたエリアであることについて気になっている。地域に</li> </ul>

入江委員	<p>密着している場所や病院など、高齢者が集まる施設での広報を意識していただけたら。</p> <p>→今後検討し、地域の力を借りながら実施していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に実施した際に来られた人数はどれくらいだったのか。</li> </ul> <p>→就労については、応募が30名いた。</p>
河合委員長	<p>他に意見はないか。以上でプレゼンテーションを終了する。</p> <p>事務局から連絡事項はないか。</p>
事務局	<p>この後、採点表を回収し、事務局にて集計ののち、交付・不交付について団体へ通知します。</p>
河合委員長	<p>以上で、第3回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。</p>